

伊達氏が歩んだ 歴史をたどる



戦国ステージ

1_ 豪華な対談に参加者は釘づけ 2_ 桑折西山城に感銘を受ける高橋さん。後日自身が出演したテレビ番組で桑折町について語っていただきました 3_ 伊達武将隊の熱い演武



半田祇園ばやし

文政の時代、京都からもたらされたと言われるおはやし。迫力ある和太鼓と軽快な締太鼓の奏でる音色が会場をひとつにしました

伊達氏の歴史を学ぶ「桑折西山城ライブ2020」が10月11日、桑折西山城跡・町民体育館・イコージェで行われました。台風到来による雨の心配もありましたが、イベント開始とともに雨が止み、町民約700人がさまざまなアトラクションを楽しみました。町民体育館を舞台にした戦国ステージでは、数々の大河ドラマや歴史番組に出演し、芸能界きつての歴史通とも言われる俳優の高橋英樹さんと、昨年開催した復元祭で

も講師を務めた城郭研究の第一人者で奈良大学教授の千田嘉博さんが対談。書物では語られない城の歴史や魅力について、たっぷりとお話しいただき、会場をわかれました。また、仙台城を拠点としている伊達武将隊は、刀を使った迫力満点の演武を披露。政宗からの「桑折町は曾祖父・植宗の思い出の地。ここに立ててうれしく思う」との言葉に、参加者は大きな拍手を送りました。桑折若連協議会が半田祇園ばやしを披露し、会場に花を添えました。

歴史散歩

4_ 高橋さんに城跡を案内する高橋宣博町長。現地でも桑折西山城を堪能いただきました 5_ 伊達地方を一望できる眺め。「曇天も風情があつてよい」との声も



戦国市

6_ 密を避けて、町内外のおいしい屋台が来店 7_ コロナ禍での久々のイベント開催に子どもたちも大喜び



町歴史案内人と桑折西山城跡を巡る歴史散歩には、新型コロナウイルス感染症予防対策として人数を制限し、147人が参加しました。参加者は、伊達植宗が政務を執っていた本丸中心建物や中館の枳形状虎口などを見学。少人数制のため、遺構や案内を間近に見聞きすることができ、現地での生解説に興味津々の様子でした。

イコージェでは、子どもたちを対象に、戦国時代を体感できるワークショップや甲冑体験コーナーを設置。多くの親子連れが訪れ、甲冑を着て記念写真を撮ったり、オリジナルの刀や万華鏡、伊達家などの家紋があらわれた缶バッジを作りました。当時に思いをはせながら、楽しく歴史を学びました。

イベントのために考案したオリジナル戦国団子をはじめ、おいしい食べ物がずらりと並んだ戦国市。食欲の秋にぴったりの香ばしい香りが会場に広がりました。「久しぶりだね。元気があった？」などと出店者との再会を喜ぶ場面もあり、おなかもちも満たされました。



東北覇者の本拠地・桑折西山城
戦国時代、ここで何が起きていたのか
見て、知って、楽しんで――

甲冑体験 ワークショップ

8_ 甲冑の重さにびっくり。気分はまるで戦国武将 9_ 万華鏡づくりに挑戦。どんな模様が見えたかな



城跡ライトアップ

イベントを記念して10月11日から3日間城跡をライトアップし、幻想的な雰囲気を出しました

